

古今  
漢

万葉集全書

十

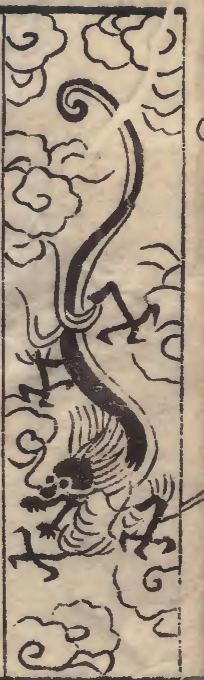
合類格書

席。目錄  
 後審報治次中法報治  
 系房 云送九十二卷  
 報治院國勢目錄  
 國分法報治格秘法及  
 山城格文和格九二函  
 上

内閣文庫	
番號	和 25179
冊數	13 ( 10 )
函號	210 64



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり  
 綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



古今録書



今日類考



古今録書合類大全

序

史同科シドウカと云イハハ先代センダイ報治ホウジの作業サクゴウ  
 之國シノクニを他サカく同流ドウリウ時代ジダイ考コウ考コウ考コウ  
 知チ之シ人ニヒト凡ソレゾロ地チ球キウ乃ナリ報ホウ之シ又マタ乃ナリ  
 忠チウ乃ナリ報ホウ之シ又マタ乃ナリ  
 凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ  
 脈ミヤク之シ以ヨリ法ホウ也ヤ凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ  
 一ヒト他タ方カタ有アル在アル正テイ表ヘウ為ナリ焉ヤ  
 核カク小コ見ミ定テイ之シ也ヤ凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ  
 化カ之シ以ヨリ法ホウ也ヤ凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ  
 分ブン之シ以ヨリ法ホウ也ヤ凡ソレゾロ之シ所シヨ也ヤ

序目

惣目録

- 一 後鳥羽院書假治次方二通
  - 一 法園同治名寄一進物名寄
  - 一 可然物名寄 一新化物名寄
  - 一 化熱石次方
  - 一 地別名寄
  - 一 公形像法名
  - 一 割物次方
  - 一 強次方 熱石
  - 一 彫物次方 熱石
  - 一 法園假治經行目錄年紀簿録
  - 一 法源系見括同利
- 強假治地及公形像之假解

古今源書合類大全 卷上

△番假治之次方

玉春

○ 西行入美中納言後當 則宗  
 △ 備前國福見住人於於九と号傳記系  
 是亦妻一の源同貴穴の上橋小打切接  
 下流の進差又云公心先刻小切方附之  
 伊模之菊乃大に分存十六系之菊乃  
 中乃志之門之さあり

夏系

○ 西行二位傳記系也 貞次  
 △ 彼中國に住人太馬亮と号○ 源希  
 表同貴穴乃下打伊大進差進小切  
 是方厚く丸丸之進差の附の上と号  
 と進乃下打表小打之傳記系也

清明

○ 西行志政大臣宰相 延房  
 △ 彼前國福見住人柱者と号○ 天降は男  
 ○ 源同貴穴乃上小打之御八中打出之  
 伊模下後表一の先丸一進方進進て  
 一進小切方也五進差の附の上と号  
 是貴穴乃下流月と号之門なり

○ 源書 番假治

上二

○西宮の御納言宛 四安

△粟田の御人山城守と号。源国夷父の上孫小打の御孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 恒次

△青江の御人飯中守と号。源常表月夷父の御孫也。御孫也。小内又ハ久西成五也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 四友

△栗田の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 宗吉

△飯列の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 次家

△乃下平の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 助宗

△佐藤の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 行四

△佐藤の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 助成

△佐藤の御人飯中守と号。源常表月夷父の上孫也。一公先の御高番乃時ハ是也。上文字と并上文字

○西宮の御納言宛 春吉

穴の上信小舟伊直連成ハ様下位  
由ハハヤ丸もろろ平山形又刻  
印もあり

臘月ハツキハ昔ハ大秋也三任 助也

△福急候はまゝと号す。後帯表目  
定乃上信平入りて打掃速速進角  
中て因立公崎平山形之刺頭

国月番 久四

△栗田口大隅控番と号す。後帯表目  
其穴乃上信小舟伊直連成ハ久四  
と打討ハ速速進角ハ細く進丸  
進丸ハ云先丸と号山形之刺頭

沖方ウチカタ刑シカキ為貞

番ツカサ振ハ之ハ後ハ者ハ村ハ院ハ得ハ園ハ成ハ長  
雲上ウツクサのハ化ハ重ハいハもハ一ハりハもハ枝  
菊ハもハありハ八ハ級ハ同ハ律ハ化ハあり

△旅ハ隠ハ波ハ圓ハ定ハ五ハ終ハ番ハ振ハ成ハ長

三ハ月ハ則ハ四ハ栗田口ハ原ハ山ハ丸ハ号ハ表ハ林ハ小

三ハ月ハ景ハ四ハ栗田口ハ原ハ山ハ丸ハ号ハ表ハ林ハ小

五ハ月ハ圓ハ總ハ栗田口ハ原ハ山ハ丸ハ号ハ表ハ林ハ小

七ハ月ハ家ハ吉ハ備前福急ハ後ハ左ハ右ハ部ハとハ号

九ハ月ハ延ハ心ハ備前福急ハ後ハ左ハ右ハ部ハとハ号

十ハ月ハ助ハ則ハ備前福急ハ後ハ左ハ右ハ部ハとハ号

右六人ハ二ヶ月宛内番と勅りて定  
後者ハ院能徳候四ハ備ハ前ハ福ハ急ハ後ハ左ハ右ハ部ハとハ号  
大小之池乃下小之池也

九条河内若殿大將二任信長。大將河内若殿  
右殿河内若殿小將若殿若殿若殿若殿若殿  
同貴家乃上あり伊直連成ハ様下位  
九条河内若殿公乃月乃力なり下内代  
燒ハ若殿公先細く伊直連成ハ様下位  
二任信長ハ若殿公先細く伊直連成ハ様下位  
ハ若殿公先細く伊直連成ハ様下位



後系一人。肥後一人。一為健。中一人。子一人。三系於形。

一國信。和列一人。一政宗。後系一人。信會一人。和列一人。肥前一人。

一國長。和列一人。一友。後系一人。子一人。和列一人。中時一人。三。屯門。

一八西。後系一人。一月山。和列一人。子一人。安藝一人。

一恒隆。後系一人。一國次。和列一人。中一人。下心。

一國光。和列一人。丹波一人。大和一人。相。和列一人。和列一人。

一有國。和列一人。河内一人。栗田一人。一龜永。和列一人。和列一人。和列一人。

一弘次。和列一人。一國友。和列一人。和列一人。和列一人。

一則國。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國吉。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一久國。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國光。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國光。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國光。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國光。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國光。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國信。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國友。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

一國次。和列一人。和列一人。和列一人。和列一人。

註進物

一真守。伯列一人。一助包。伯列三人。一家次。

伯列一人。伯列三人。一家次。伯列一人。伯列三人。一家次。

△進物之事

一進物を執りて秘儀扱ふは進物なり。秘儀扱ふは進物なり。秘儀扱ふは進物なり。

宗近 系三条 在國 系三条 國宗 系三条

吉圓 系三条 信房 系三条 角心 系三条

子成 系三条 信心 系三条 守家 系三条

國永 系三条 定利 系三条 助近 系三条

助包 系三条 吉包 系三条 守家 系三条

助乃 系三条 盛助 系三条 包永 系三条

新成 系三条 長列 系三条 宗正 系三条

助俊 系三条 基近 系三条 介成 系三条

末光 系三条 永包 系三条 貞徳 系三条

言包 系三条 言包 系三条 真守 系三条

政宗 系三条 助久 系三条 友徳 系三条

成宗 系三条 行仁 系三条 士邪 系三条

正恒 系三条 助村 系三条 國重 系三条

光忠 系三条 長光 系三条 真長 系三条

真光 系三条 真成 系三条 友成 系三条

真吉 系三条 真吉 系三条 元恒 系三条

久列 系三条 吉真 系三条 恒次 系三条

是助 系三条 長光 系三条



内行

播州行抄  
ア時抄  
為りたり

義行

吉野反  
三多田  
流石

清真

三印  
三印  
三印

一 義行の二文を以て義行と云ふは傳ふ義行  
十二人也然る十二人他者何事も義行と云ふは  
弁せりて云ふは此倫不可用義行の義  
を以て流石則家々他計あり  
正和二年癸丑正月十日  
義行流石号元禄  
六年三月廿三年

△可然物之更

一 可然物と云ふ者有り是善く或は  
あはれ麻苑院殿定深義三河入及義  
假一けりて義行出たり人小治志力下  
さく云々流石代也云々死に後云々  
物乃云々人下云々死に不可然  
云々可然物流石一上P之假の假中  
か之出あさ之記一を上P之假の假中  
支國假治乃中云々云々云々記て假  
上流云々云々故小教も云々上假云々  
不可入なり

助則依則包日安則日則助日則常日

永包日吉家系忠宗忠系吉子

宗祖 家安 國光 介成 高包

包助 在心 実忠 成宗 重家

狂行 延心 友安 家忠 助久

系別 康貞 重吉 貞長 貞光

助光 守俊 系安 実守 助重

助真 真守 守家 弘次 仍次

云々流石守家日 光長 則房 成徳

順孝日 光長 則光日 守次日

次暹日 助次日 吉次日 真次日 系依日

吉房日 則依日 雲室日 系秀日

行真日 長則日 圓長日 長則日

以上六千人 可然物終

▲新物之更

一新物... 乃物も入るなり下乃  
物も入るなり新物乃物も入るなり下乃  
と云ふなりと云々

古今名考  
上

一古今名考なるは乃乃乃派と先代  
乃乃乃... 乃乃乃... 乃乃乃...  
乃乃乃... 乃乃乃... 乃乃乃...  
乃乃乃... 乃乃乃... 乃乃乃...  
乃乃乃... 乃乃乃... 乃乃乃...

基近 助房 信正 寺政  
末光 直宗 助成 則包  
利順 宗安 宗正 宗仲 助行  
行真 西連 盛宣 左 安吉  
助近 倫必 了久 助美 國永  
國吟寺 志之 是村  
真宗 宗正 宗次 真次  
宗次 生佛 直宗 光助 吉氏  
則進 助國 則進 弘進  
永真 信安 近系 利進 吉次  
長進 吉恒 守道 吉信 宣孝  
安行 國利 成吉 政宗 包安 宗

恒光 安家 彦平 道安  
以上  
新化内と一統

▲他近名之考

冠落 又精化 端他 切洗 榎子 勘全  
斤方 年他 勘全 平化 切光  
小幡 三頭 横子 筋 及 席 栢 平  
丸道 三松 源 信 平 德 中 園

▲地引之考

地之膚 地射 上他 之 村 膚 中 他 惺子  
地之膚 湯氣 刑 板 又 源 泮 油 派  
直又 礼又 送礼 皆焼 丁子 礼  
速目 切速 速 爲原 速 徳垣

洛直 作地名

山形。平山形。垂形。向形。一丈。行廻。斤判頭。車形。目貫穴。

割地之次第

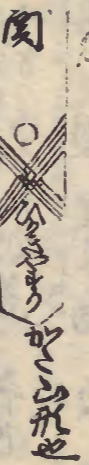
二筋極 際極 小まきと 刀極

謀極 連華 緝 刺 降 三指

掃指 復摩術 丸形 梵字。

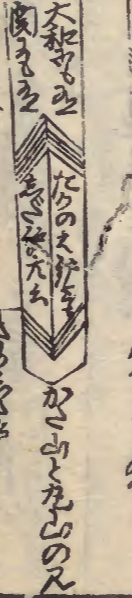
愚形。海龍。冠栗指花。柳龍。不純。

種之次第 必形



大和 切草をいへる平の形換えて信の形也

大和の形 たる大和の形 たる大和の形



依形。まじり形 心應永仁元徳正中建武の年号の形也

依中形。大まじりの形 毛でまめとまじりまじりまじり

依松三系。くまの形なり くらうとまじり一合程のまじり

栗田の。まじり 丸籠の形

一系拘束。くまの形なり たる山形とまじり

末信國。あうとまじり たる山形

越中。まじり たる山形

大正九年  
信國

鏡の形  
丸山形  
丸山形

鏡の形  
丸山形

鏡の形  
丸山形

▲<sup>ホリモノ</sup> 厥物之次  
僅余の三角  
以上下の全令  
貞宗  
上心あり

之次  
平安城長吉  
たひをくたひ

之次  
平安城長吉  
たひをくたひ

之次  
平安城長吉  
たひをくたひ

之次  
平安城長吉  
たひをくたひ

之次  
平安城長吉  
たひをくたひ

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

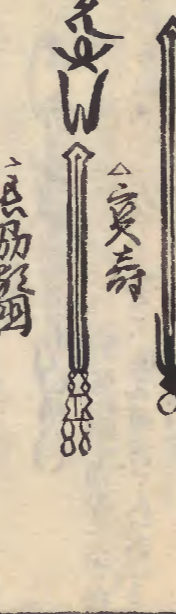
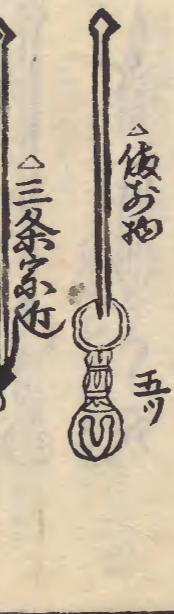
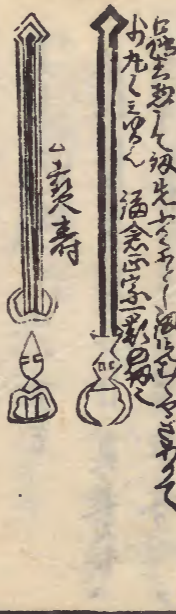
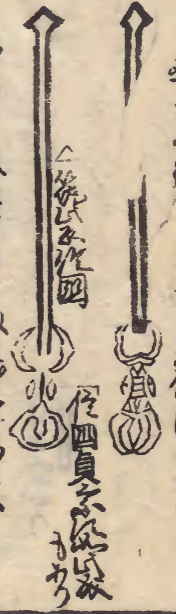
信國  
信國

信國  
信國

信國  
信國

上十一

大和物語三法極初大和物語色水初初  
 叙及のうてさあゆふ来あす一叙初々さあ  
 一鏡念及のうてら極初初々さあゆふ来あす一叙初々さあ



△依國飛合類秘訣 周保

上巻  
 山城 三條小堀 栗田口 平安城  
 街小堀 来類

大和 天國 當麻 尾後 子孫  
 保尾 子孫院 子孫 子孫

相換 美濃 月五定

赤坂孫六 酒次 赤坂忠義  
 赤坂千平 院 西郡外孫

備前 古儀赤正 同之山 同國孫  
 月五助 同之成 同信房

長祿近忠 福屋一文字定切 同  
 助行 同之房 同守近 同云生

備中 青江別高 同安次 一代飛治  
 三原 幸田助國 一代飛治

備前 三原 幸田助國 一代飛治  
 備前 吉氏一族 一河内 包平一族

和泉。和泉。紀列。入麻一流

丹波。長来一流

近江。白旗。兼家

三河。二流。兼家。一。志江。因家。兼家

武藏。四流。忠武。一。伊賀。二人

下野。二人。一。奥列。兼家。兼家。兼家

越前。宗光一流。一。越中。兼家一流

加賀。友信一流。一。石見。盛徳一流

出雲。友永一流。一。伯耆。大友。兼家

美作。二人。一。但馬。二人

周防。二人。一。周防。三流。三流

長門。二人。一。安藝。二人

河波。氏吉一流。一。備前。兼家。兼家

伴祿。二人。一。去佐。二人

淡路。二人。一。信濃。二人

越後。二人。一。能登。仲候。兼家

筑前。三流。一。豊後。兼家。兼家

肥前。兼家。一。肥後。兼家。兼家

大隅。二人。一。薩摩。兼家。兼家

雑沓。真幸。貞徳。兼家。兼家

山城。兼家。一。大和。兼家

又。依茶。兼家。一。依中。兼家。兼家

又。依茶。兼家。一。依中。兼家。兼家

右佐四郎兼家同縁終

諸國目錄

古今源流盡合教大全

△山城 三傳の能治 栗田口  
平安城 後小治 末

△粟田口 此大神古刀乃所不そくせ  
を一能治同こまやうのて地が  
くくさくさくあり地をまきく又  
を白くして佛をひひり及と焼  
るなり一垂及中極孔坐公燒之を  
又と大畷やくと餘國のありはさ  
物と一切物此撰ふく梵字又す  
そのひろふふか子かそく撰ひまうく  
佛く先修まやうそく撰乃先小  
いさひあり刀の先がれゆて三採  
なり患の採角小或ハ角ゆて小圓  
あり作の撰先平山程或ハそく撰  
以撰の志刀ありの平君同君文の上  
志撰のそく撰の刀のそく撰りて  
同君文のそく撰のそく撰は君忠  
也

△山城國能治能

系系秘法合教  
一境撰

△京三条系近一流系合教

系近

一三系流三三系三系近四三系系近  
又三日月又穴あり

○一系流乃流字系三系小能治と号す系流  
乃とろく元極六年と凡七百六年なり  
○依國同流三系近系三人修安三二九列二

吉家

三系系近の子と或ハかろ路在り  
されたり子三修り

○依國同流三系近系三人修安三二九列二

在國

系近の子

系永

在國子  
伊撰下

系近

九列修撰能  
路形は借ま

國永

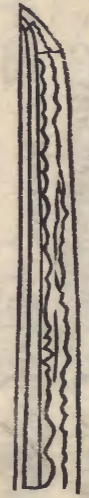
在系子

系近とせ他也古刀乃所あるり切を修  
まやうなり唐中能治國のれも想う  
地をさうく系をさうくひろく信と  
ひろく 二田花とろく 細垂ぬふ心と燒  
ひろく 一系山のされぬ心と燒中と  
細及表と唐垂ぬふ心とろく三佛及

忠なる人こそくさるるそとばかりなり  
 小切なるもあり並遠御持角あり内  
 り 兼及ませ にはあるすざとて内  
 後伴方、 それに忠乃御持角横小  
 平と並遠のさるなり

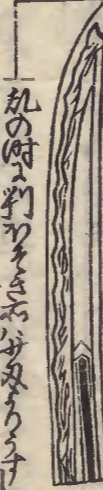
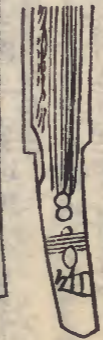
角 三條家辺

宗近。 角



三木ノコカケ宗近

一寸五分斗也一ささ入の角へ交りて  
 あり忠乃長と云四寸あり



一丸の附、判りなきおみなりすは他の  
 習い無きありと云九寸四寸と云  
 あり判りなきおみなりすは他の

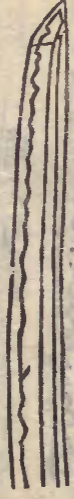
三條 宗近。 角

宗近。 角

吉家 三條小能治が子と或は宗近が

かろ名たより子小能治よりと云之刀  
 乃為宗を以て日御松目也細や  
 地をまゝ一小札及とものざれ及と云  
 細並及ふと云へを焼く佛多一底  
 申之刀乃為常宗近がかり流  
 と云之は他よりはお本也より流し  
 忠乃為の宗近小く四寸あり作あり  
 並遠に描くもや一丸

吉家作。 角



在圖下之上也宗をがけりあるた刀の  
 ありや、 馬より一能松目と云や  
 一 流し ありや、 ありや、 ありや  
 あり、 あり、 あり、 あり、 あり、  
 小札及小佛をくくると云及と云

三條 宗近。 角

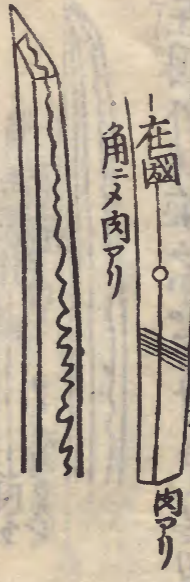


録書  
三五

若くすればかひの船なり出づるや  
り。一、片々束縛と云々なり

○柔佛の 平安城の住人 永安の志  
元禄六年七月十六年と云

在國 日  
○近江子  
角ニ肉アリ



一 蓋永ノ之上他 婦乃法在國へ  
三乗小住す老刀乃法父亦能知り

服地及乃らんがことと又在西國  
但し位ハ父もろろ増とれり老刀也

刀と極どかくたり

○法國同法小蓋永永系三人法列三人  
和列三人を代りする

一 國永ノ之上他 同法平安城乃住人

在國ニ男蓋永が身之老刀乃法  
後亦能知り小能なり但し此之ハ習

より概同ありてより志しめあり城  
なり極とさゆりきりるる上より

席ありて傍たりて多く切先はまや  
りなり礼見せ多く又之を名め多く  
上白し又大和必小國永と寸ハ所

他あり所代後平安城永安ハ國ハ  
字小なりける因ハ忠棟内小

座主蓋永あり

○振来有法内平あ城長居乃法元禄  
六年正月十六年

○法國同法小蓋永永系三人大和二人彼前  
蓋永永系あり

蓋永永系あり 國永 ○ 角  
梅角ニ小肉あり日

一 栗田口物之系 為秘候

○近江院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
元禄六年正月十六年

一 國家 ○ 三乗院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
九年正月十六年

一 則國 八島村 政右三九

一 友未 山友子林ノ号

一 玉 安徳天台上表和法  
江列勢田位す

一 山友子林ノ号

一 安徳天台上表和法

一 江列勢田位す

一 栗田口物之系 為秘候

一 近江院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
元禄六年正月十六年

一 三乗院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
九年正月十六年

一 八島村 政右三九

一 山友子林ノ号

一 安徳天台上表和法

一 江列勢田位す

一 栗田口物之系 為秘候

一 近江院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
元禄六年正月十六年

一 三乗院法堂の麻治乃法栗田口元禄  
九年正月十六年

久國 必交才也  
○坂本別院住持云  
栗田口住人云

國安 ○長多郡  
○栗田口住人云

國法 ○長多郡  
○栗田口住人云

有國 長多郡  
○栗田口住人云

國弘 ○長多郡  
○栗田口住人云

國光 ○長多郡  
○栗田口住人云

有元 ○長多郡  
○栗田口住人云

久吉 ○長多郡  
○栗田口住人云

吉光 ○長多郡  
○栗田口住人云

有元 ○長多郡  
○栗田口住人云

久吉 ○長多郡  
○栗田口住人云

吉光 ○長多郡  
○栗田口住人云

則國 三代目  
○栗田口住人云

國吉 ○栗田口住人云

國光 ○栗田口住人云

國延 ○栗田口住人云

吉正 ○栗田口住人云

清長 ○栗田口住人云

吉國 ○栗田口住人云

國秀 ○栗田口住人云

系長 ○栗田口住人云

國定 ○栗田口住人云

心次 ○栗田口住人云

心國 ○栗田口住人云

國吉 ○栗田口住人云

系國 ○栗田口住人云

久元 ○栗田口住人云

吉正 ○栗田口住人云

有元 ○栗田口住人云

久吉 ○栗田口住人云

吉光 ○栗田口住人云

有元 ○栗田口住人云

久吉 ○栗田口住人云

吉光 ○栗田口住人云

有元 ○栗田口住人云

久吉 ○栗田口住人云

吉光 ○栗田口住人云

栗田口住人云

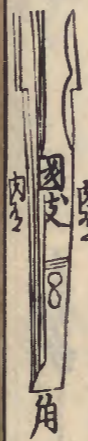
正光 卷中子  
季市 下子あり

○後二象院未か元味栗  
日吉光子建治  
より升八年はふ尚

國純 又ツク子丹列ニ住す林口一号  
冠蓋多他

頼家

一 國友 上他通 元暦乃法友林口乃終  
かた切先法もやうにかま厚唐源  
く假松月いれと二返やうと地をわど  
先りもそくさりた力乃終乃列也  
より之終中もく終もやせが一返も  
白くそとあまふるそく終くさり  
佛多一終不ゆさうも終もた力乃  
物乃乃ありより上返ちとやのけそ  
二まは返あり力いあふ終のけし  
のけくよりんがく終常あといえ  
と終一終採横伊終のさ終林國友と  
折又二字中も折國乃字二終あり  
國友又ハ國 内之 びとくさあり



栗田

國友

存用ニ伊並ニ河 号終林一

山城角三内

一 則國 中之上他 唐仁乃法友を先を力  
乃終伊そく及言一假松月在元乃  
され終こまなりなり唐や切先と  
はまやうと地をそくさりあはより  
細直又と燒のされ又とと燒大崎直又  
ふりとあをそく燒之佛多一返も  
あめめ白一返乃上小細くあうと國の  
終ありのいれとさう假之刺梵字も  
こて切之細先と終あやうのり力ハ  
がうと燒つひらちつりどやくたう  
り中直又の力とさうさう一孔あご  
ま返がと終もととす國友小國  
終のさ國 國とれしなり



則國

名書 山城栗田 二八

鏡書  
川...

目奥穴の上に赤伊核下  
中心先小肉あり

栗字川刃  
小角ヲ小肉ヲ 汝核下号核ヲ云

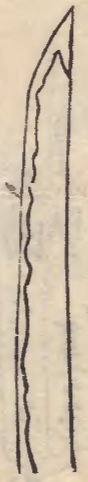
日親 困來 角

○法國曰後ニ曰國友栗田口三人及林前  
後肥核三人字及三人  
○日後曰利必栗田口三人伯列三人  
他下トモ佐方三人ト云

一國吉とて他也 天福の法を奉射  
右刀乃海舟をく 掃お一多く 廣く  
廣く一振松固いれとこまやうな  
つりささるるやうふささふと及  
たり及もわいさ 地をいれとま  
一細直刃と焼但一出來物では中  
速ぬわりは他もふささぬ乃ぬわり  
國友乃ニさぬしりも控る常かり  
地の底をふささぬぬをいれと  
天目乃さぬぬのど一焼かす地  
ぬとさぬぬ各別ありぬぬぬぬぬ  
一掃と多くわり刀乃細直刃は

うつりともやうとせぬくうつりともやう  
焼梅と好くく 汝等 夜同 世家の下  
ふ打系乃 國吉とて 汝ふかりと云

肉 ○國吉 角

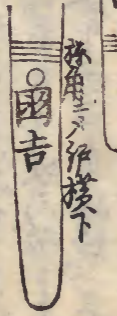


栗 椽角  
○國吉 角

椽角ヲ淨日

名物在栗田口及宇多院のうら  
椽角ヲ淨日 栗田口を栗田國吉と云  
赤し裏に建治四月十二日

同角 ○國吉



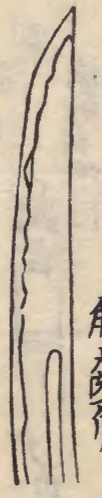
一久國とて之化 純馬以名ゆを刀の形  
か多く長一掃か 廣く 廣く 能  
木といれとぬやうかり地をぬとぬ  
かり伸速ぬと焼大札ぬとも焼ぬ物  
并乃ぬとぬとぬのうらへ 汝く焼ぬ

○銘書 山城栗田口 止十九

くびは竹ハ加減をわすれぬ物なりと云  
それより物なれを流し打撃を流  
を物ふ入し是は竹なりぬき白  
ぬきぬきは乃どききりしゆき  
刀の速ぬと流しを流しぬきぬきり  
但し約ぬきりしゆきぬきりしゆき  
と云くは地帯をぬきぬきりしゆき  
つりくは常かり自然焼つぬきぬき  
まづしぬきりしゆきぬきぬきりしゆき

標名定以先之

角久肉

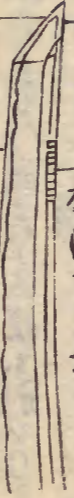


久肉 小肉

角久肉あり 其へ之し

角久肉あり

標名定以先之



亦之帽之中敷別りしゆきぬきりしゆき

粟 建名久肉

持用しゆきぬきぬきりしゆき

天福より十七年迄

持用しゆきぬきぬきりしゆき

粟 久肉

持用しゆきぬきぬきりしゆき

久肉

標名

○法園日格日 圃吉栗田日三入 おぼ系三入  
茶後文和三人作徳二入 肥後三入 筑前三入  
後希二入 後後三入 筑中三入 筑後三入 筑前三入  
○日格日 久肉 粟田日三入 後希三入 下三入

圃安 中上絶え 元磨比飯三入 志刀持  
わすくもく信多 切先信多 志刀持  
席も紅なり 飛松 同移れ方々 地も  
あくまき 細直ぬと焼ぬきぬきぬきぬき  
くわくこ上四一 刀乃地をぬきぬきぬき  
不ふ坊の 切ハ三 標丘 中く三 角 佛ぬ  
一 流と系ふ 打圃安 山 同 栗の上  
小打 山 栗 田 日 三 入 後 希 三 入 下 三 入

名 山 城 栗 田 日

三

校用ニ後下ノ國又テ戒ヲ修リ

回安

三ノミクニシテ又ノ孫平方ノ後

○後國同後ニ曰國安栗田口ニ入倭前ニ入

一國境中ニ他ノ天福の法口即兼奉力乃

まろニ安小似ナリ根柢同地ニあり

連及ニ焼地ニミズンニミズ吉小似ナリ

志力カカ先乃及ニ焼地ニ力カニ株

去乃株ひろノ非ハ連蓋路ハ同其交の

地終ハクシク打

株角ニ小肉わりノ

○後國同後ニ曰國後栗田口ニ入伯列ニ入

一有國中ニ他ノ同比ニ及又即志力カ

必ありそくもくせむニ必安小似ナリ根

柢同地ニあり根柢同地ニあり

クニミツ

○後國同後ニ曰國後栗田口ニ入伯列ニ入

栗田口為ノ地ニ曰根柢同地ニあり

やうあり移れりそくせむニ必安小似ナリ根

柢同地ニあり根柢同地ニあり

上ニミ細直及ニ焼地ニ及又即志力カ

あり路ニ及又即志力カ

以あり及又即志力カ

一士に先 上ニ他 後下ニ及院 建治比志力

乃及分そく世とそくせむニ必安小似ナリ根

柢同地ニあり根柢同地ニあり

中ニミ細直及ニ焼地ニ及又即志力カ

あり路ニ及又即志力カ

以あり及又即志力カ

日乃根乃内小ニ及又即志力カ

又梨唐乃根乃内小ニ及又即志力カ

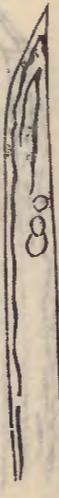
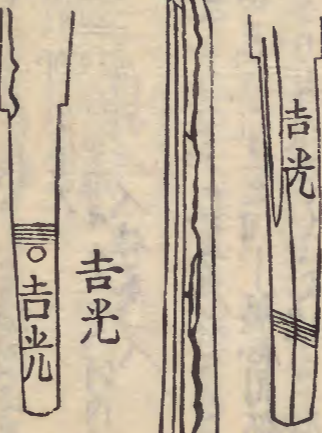
て底小似ナリ根柢同地ニあり

と焼志力カ地終ハクシク打

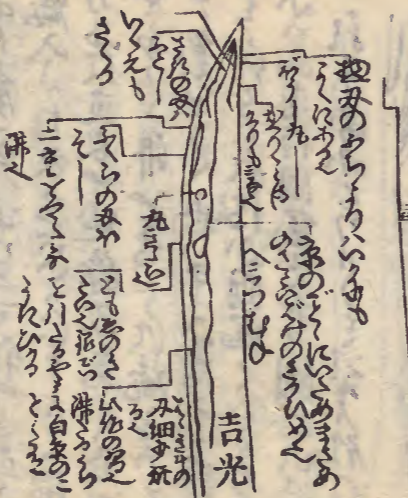
一多分ニ及又即志力カ

○名置 山城栗田口

一い他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自  
終に他乃ち力なまれあり力乃ち終に自



角  
吉光  
吉光



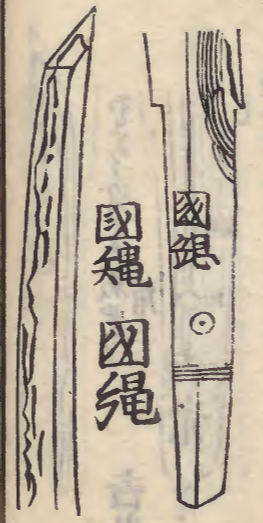
○後國同法曰吉光要番口一入因後三八  
山城二入一入のこ

一國徳を他を  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち  
正治乃ち正治乃ち正治乃ち

浴盆 山城栗田口 止七二

やくりありあり焼火にやきたるはさきす  
 ざりやとくにたゞたの又とかく焼  
 焼けて細れり乃とよりより焼火を  
 かり焼へるの焼乃とよく焼火をよ  
 あがる焼火はかりよく焼火をよ  
 上はかりよく焼火をよ焼火をよ  
 一方乃焼火とと一方の焼火より  
 かり焼火のひがかりよく焼火を  
 あり度又乃あり二寸程づ、歪とと  
 焼火より又さかいたる焼火をよ  
 刀中は歪又と焼火又とよくあるあり  
 ときく焼火とよく焼火の焼火より  
 産火とよく焼火の焼火より焼火を  
 をこれとよく焼火の焼火より焼火を  
 小の山内焼火と打 國總の焼火は乃  
 一統系もよく焼火の焼火より

國繩 國繩



力のまは細より上は八寸七寸合を  
 ありは年島志と名は焼火

栗

三系友の太刀腰又あり 樽角ノ肉あり 伊  
 号冷成

利茂進上 号伊國徳

國總

太極根藝の太刀端あり

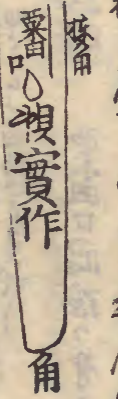
樽角小肉あり 樽角上は又号共

栗 樽角 樽角 樽角

○法國內路二日 國總栗田口二人 肥後三人  
 依系三人 三何二人

柳實

先乃忠核作 樽角先平山 孫の志の志  
 服を換つるのとわありあく終わあり  
 他乃孫の抱い系研 延小孔山野 孫  
 親子危丁いさかり 孫尾ありといはえ



家 栗田口 系 系

山賊栗田口



栗田口家則

栗田口家則 栗田口家則の種子を考  
ゆかりの白飯中よりゆかり

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

栗田口家則 栗田口家則の種子を考

△系抽け大御太刀の袋にけりくゝゝふの  
 中未だ物一俵ゆて店中切先中  
 俵一疋目地色ありくゝゝめえて地金  
 ふあり味を味ありありわやうれ  
 沸ふ一札ぬは後物ゆゝゝゝゝ  
 今とて大を要ある沸むがうけ月  
 並又ゆてよりこゝゝゝゝゝゝ  
 一ら火焼く例たり焼くありあり  
 ありありありありありありあり  
 ことか守忠方次第を同更先の上  
 刀のこぼりて目更先下に張て打  
 の横へ接するは俵一疋判りあり  
 蓋御あり忠さらい平山形棟尖略  
 角たり刀乃ぬありありありあり

△平安城物之系必秘伝

長光 <sup>ナカミツ</sup> 本之太師と号す後同更先の上  
 折て平へ中へ折て伊折下或  
 也志 <sup>オホシ</sup> 後小松院意承也  
 先長 <sup>サキナガ</sup> 三郎と号  
 伊折と力 定忠 <sup>サだちゆう</sup> 本之太師と号す  
 西園更先の

女子 先長男女  
 長吉 <sup>ナガきち</sup> 長吉孫也  
 又家打文の 長吉 <sup>ナガきち</sup> 長吉孫也  
 長吉 <sup>ナガきち</sup> 長吉孫也  
 長吉 <sup>ナガきち</sup> 長吉孫也

吉永 名と有と云  
 吉則 <sup>ヨシノリ</sup> 時代長吉と同じ長流  
 平安城俵 吉則と打

女子 吉則 <sup>ヨシノリ</sup> 三条同時代  
 同流

吉廣 <sup>ヨシヒロ</sup> 後系融流法今時代吉則と同  
 長流平安城俵吉廣と折  
 吉次 <sup>ヨシツグ</sup> 時代同上  
 後平安城俵 吉次と打

重次 <sup>ムネツグ</sup> 時代同上  
 後平安城俵 重次と打  
 長光 <sup>ナカミツ</sup> 本之太師太刀の袋ありあり  
 俵一疋目地色ありありありあり

小丸又の中札と色焼是ありあり沸  
 より唐流し俵ありありありあり

長光

近角ノ小肉あり伊直延

一 光長 光下と伝 平安城を刀以渡

信廣くさし地を白めたぬささる

並ぬ又のぶれもさやうあくさる

トク初花字乃くさるあくさる

一 長吉 又末あさ入長き三條

服物と花びひらきしれど毛懸吉

初吉房吉次等たり

近角ノ行横云々享三々

平安城住光長

虎笹入る和次尾徳々

平安城住光長

肉あり

長吉

又末あさ入長き三條

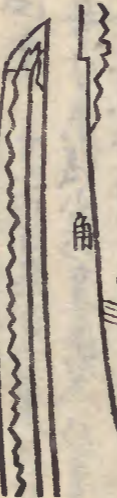
一 長吉 又末あさ入長き三條

平安城 長吉住

くさして肉アリ

一 吉別 時代長吉と同一 系号

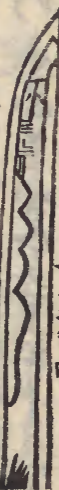
三系吉則



齒小肉あり齒中々々上下分悉

三系吉則 皇國依

昔本柄三系九列々其後似す振平



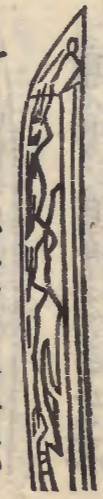
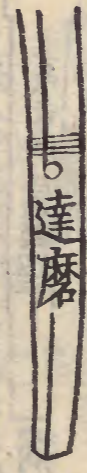
地をさすやぬさる

一 又ささるえとて伝

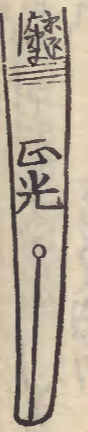
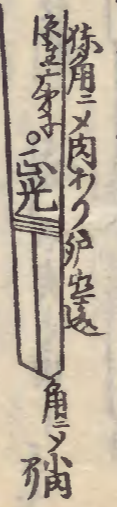
山城平安城

正宗 在磨右刀乃河系孫と存じ

地を白めふぬるまゝ一水孔ぬかその  
がれと焼く佛ありがう一ぬ一ひくも  
あぐりやうやうを忠孫九く連孫  
又横河小色まゝ孫ハニ子正乃字ま  
かり△は在磨正宗系孫治の  
乃系孫若ふん守本言のるは但  
そいふす  
○後嘉徳院は山城國住人孫の  
乃り元禄六年と三十九年



正光 了河孫若かり享民所入乃  
号す系後小路在磨入乃ま光が  
子よふなり



正光 永達ナガ子

△山城國綾小路物系孫秘候

永昌 昌河大昌他古打御孫常表同表  
乃上乃三孫と打振本表に祖治

定利 永昌のひ孫小路孫志郎  
○表山院文永の孫

女子 定家 定利の子孫  
永仁の孫

女子 定後 昌河の孫  
乃上乃三孫と打振本表に祖治

忠家 定家の孫  
定文の孫

末行 永昌の孫  
表同表上  
横河治丸

定利 又中世 永昌の孫孫孫孫  
志乃乃孫孫孫孫孫孫孫孫孫孫  
一席中孫孫孫孫孫孫孫孫孫孫  
煥とやうなるをかりかか孫孫孫孫  
小刀とかり切先中孫本一尺とりの

の巻書 平安城綾小路 上二



國行 國子。由山院流す文彦の以  
系末太郎と号居たり廿三年

國後 國行子。伏見院流す文彦の以  
元禄六年と延百六年

國行 日

國末 日

女子

弘村 振中振初  
振後之末  
又肥後國言振  
五

國村

末國次 乃小孫  
振指ハ  
大孫之正孫  
○尖の院居意以

末國秀 國次子

末貞光 日

秀次 國秀子

末國次 振指ハ  
乃又天孫  
振指ハ

女子

末國長 必末子孫  
○花室院流す文彦  
以振津中傳佐  
中孫末と号元  
禄六年と三百十  
一年

末國安 必考孫

末國安

末國安

末國安

守弘

末弘

信久

末國光 必後子孫  
元德建武

末國吉 日

末倫國 日  
○後醍醐  
天皇平安成

末倫國 日  
○後醍醐  
天皇平安成

末國後 國後子の以  
又國文保元  
の以。國文の以  
より廿三年

了戒 國後の以  
○元禄院居意以

國歳 國後子孫  
又才子孫

光包 國後子孫  
の以。國後子孫

國久 子孫  
○和以

了久信 光包孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

女子

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

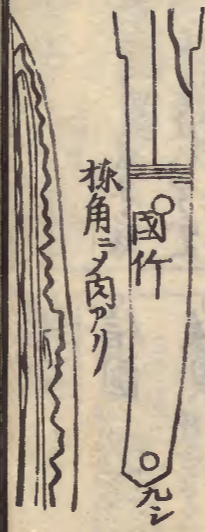
信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

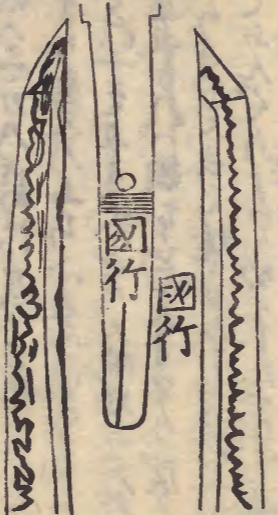
信國 信光孫  
○和以

信國 信光孫  
○和以

四行 中之上九 正元文意乃以未去部去  
 刀乃發及之于一大略極どかく度中切えも  
 中之振極同之極やらん地を三底高めはま  
 く刃て上小おれを三又ハ膝中ひら  
 く燧中て細中一尺分札又どやまを  
 上ハ度極又ふ一二寸をより又ハみか分  
 極く是と燧へより又ふらいうれを家  
 やうに極常あり又ふらうりねくやう  
 へてまをうく沸よりゆくこと一  
 沸より切先乃肉と極又おや極子  
 湯毛乃おれもろ度又ふいかあがず  
 湯毛をろ極白あうた沸出未極は  
 あり忠乃ひくは肉減あしそく極まら  
 とまへおれやうふらう極もろこも  
 極一折ハ極極ハ二字四行ハ四行  
 あるとろ大極くおれあうた刀ハ細く長く  
 三寸五分て小出来也

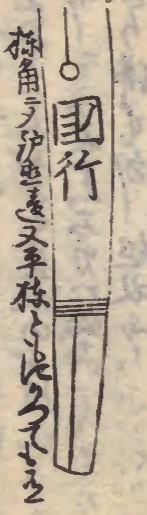


○ 国行  
柄角ニ肉アリ

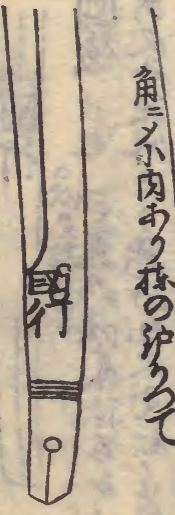


○ 国行  
角ニ肉之 柄ハ直ニ

此を刀細川と四行物之所中丁子と云ふハ  
 中丸の又切せつまる極ありて一



○ 国行  
柄角ヲ沙虫ニ又平極とにうすもろ



末 国行  
角ニ肉あり柄の沪うて

銘 豊山 滅来ノ類 上 北

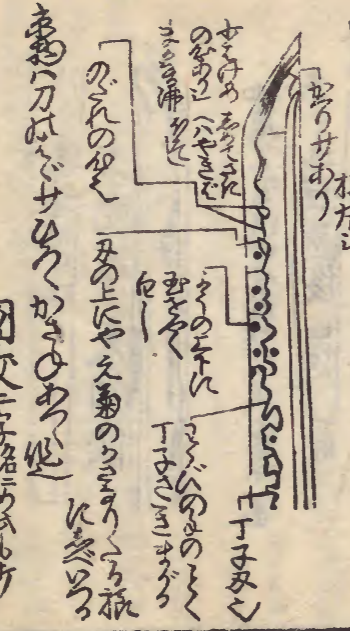
山城来ノ類 上 北一

國行

一國後 中化 伏見陸海守  
國後 中化 西意乃兵未疎を部老力の  
兵又不能以より鷹の乳及ぶ蘇もれどく  
ちより丁子及ぶ刀一丈の底並及ぶや  
ど入くやく但上まで丁子と燻らるもあり  
上丁子大ぶさし並及ぶのれ乳及ぶの併  
刀一丁子及ぶる刀の底一丈もたはれ  
より併も刀 但及ぶら小刀やくの併  
きく地とさく上乃多の赤れきく  
ひく燻らる地金之忠林同護伊後同費  
突乃下小二字亦 又本國後い志の他後  
又本乃字と加く折と云又別人云云  
他いを刀乃伊後底く度もや伊後  
なり並及ぶら小刀のひくさる  
どれ二並及ぶら小刀のひくさる  
並及ぶれば燻らると又すより度く燻か  
つりさのま長く燻らる刀のひくさる  
てせんぐりひくさるさるひくさる  
服物のみ梵字へくつらだて離れ  
横より心ゆく中意成さる忠回か後

同費突乃と信ふ二字より大後お後り  
已後おとて根子ぬ一六度後と云  
しり。又云二字國後乃刀持と地と云  
先お似たりよりこの國後國の同後  
三代ありと上と下と云るなり  
中子と丹波乃と云小信す又各なり  
國後と云。又云並及ぶ乃國後の二代目  
お似やく他と見しより上と下との別  
そ合なり二字並及ぶと云るなり  
中下と云るなり

國倭



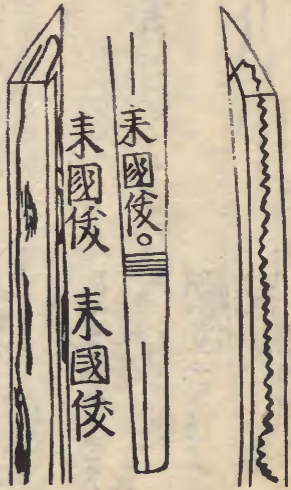
山城来ノ類 上 北一

國倭

丁子及ぶ  
刀の底  
上  
下  
伊後  
丹波  
小信  
又各  
別  
離  
心  
中  
意  
成  
忠  
回  
後



金書  
川北  
州



未國俊。未國俊。

佐角 伊豆遠中堂國俊未字不妻

末。末源國俊 註傳 角

文保元年丁丑月日授秋矢目あり金星云

末 未國俊 永仁三年十二月十日

佐角 小内あり伊豆遠

佐角ニノ伊豆

○未國俊

原。未國俊

一 國光 中他 元應のは未糸束を乃乃  
後國俊小似より細一席中切え中

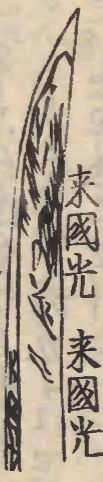
まのあつた他瀬松岡地よりやううん  
えり地をさく赤一乳ぬふ下と焼  
み移し乳又の先とさゆれりあ  
備中とちれゆく先のぬのへ祖又親小  
因の切先乃内やうのありとわ一平  
めあやぬままきく凡してその内お渡の  
りくさささささささささささささ  
親まのそふささ一口信ありぬぬのを乃  
と刀ありを乃一けさささささささ  
並ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
あ一地おさささささささささささ  
一やうううううううううううう  
んしてぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
どしてぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
親もももももももももももももも  
く焼下より地金れさあけくわ  
まみんしてり乳ぬぬぬぬぬぬぬぬ  
入地地ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
うたりぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
あ一位ハぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

山城味ノ類  
世二

金部 十一

「聖丸」 聖の字は聖と云ふ  
「忠の字は忠と云ふ」  
「忠の字は忠と云ふ」  
「忠の字は忠と云ふ」

来國光 國光 國光 國光  
「来國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「来國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「来國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「来國光」 國光の字は國と光と云ふ



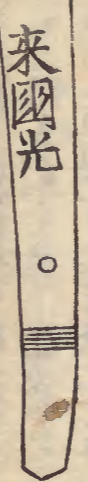
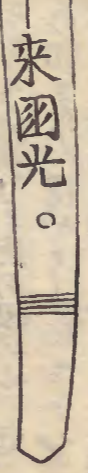
角 小角と云ふ  
角 小角と云ふ  
角 小角と云ふ

建武三羊十間

佛と云ふ  
さけてあり  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ

「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ

「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ  
「佛と云ふ」 佛の字は佛と云ふ



國光 國光 國光 國光  
「國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「國光」 國光の字は國と光と云ふ  
「國光」 國光の字は國と光と云ふ

山城来、變  
世三

齒七角

来國次。

小丸丸の焼く定海國房を焼くものあり  
國房は又焼くものあり

栞角ニハ 須横下 並遠 須半 並

来。来國次

来。来國次

角

地獄も及ぶと  
入る瓜上とす  
等々と云たり

来。来國次。

平山丸

一 國長

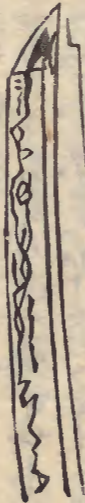
下他

正和乃法中徳来と号す

國後の身又之志乃乃身松山少ひうく  
とどろくせづく他之能松山席中地  
くまなく去りあかりあまあひけり  
大勝並双とやく小丸双とやくのれ丸  
乃んごやくと並双乃乃力丸國乃の不  
出来多るんぬり地びくまぬし双と  
あくと小かまると他之忠換須

栞肉来國長と打

國長。



京都佳倉國長

角

栞角ニハ小肉と号す

一 光包

下上他

延考乃法戸津来又亦

刀乃身又之志乃乃身松山少ひうく  
とどろくせづく他之能松山席中地  
くまなく去りあかりあまあひけり  
小丸双とやく小丸双とやくのれ丸  
乃んごやくと並双乃乃力丸國乃の不  
出来多るんぬり地びくまぬし双と  
あくと小かまると他之忠換須  
他之りあまのけりひうた之りのと  
まの木の枝とれきたるがごとくにや  
まじり又云小丸双のれ丸と焼刀の  
飯おさねの之り乃ごとく小焼るもの  
國後が身又之志乃乃身松山少ひうく  
子とあり飯おさね小焼比はま焼たり  
なす一國後お他乃以み保乃年号と

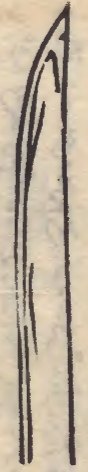
名書五 山城来ノ類

上ノ世四

なりを力とて他ひいよとて中堂本  
 へかたりとて思持角並本也とて  
 先月山平一落り二まゝぬかひを落  
 たりとて素く一おれたがひよりとて  
 小丸とてなり

中堂本

○光包 光包



角又小肉ありすまへ角  
 光包 角

経号たら米 中堂本とて  
 是

一 子戒中他 延き乃は右乃乃あや  
 やそ 結たり ほどを並双小足小脱  
 入り 飛極目やて 後やうあつて  
 房中地小湯うりりふふをいひ化子  
 限り 房あり又い勝かど小丸小耀  
 て 後系系光かして 上へ座  
 双と極地とていふ 双をまめふとて  
 とてとてあわり極とてかたはるち刀あ

佛とてくこゆとて 國後とてのち子  
 左云位を揚小入りう久佐が他と  
 揚小う戒と結と并と房左刀矢一  
 父子乃乃ゆとく 船乃心せ知やとく  
 似りり後とて結乃とてつひ思乃  
 去く並ひ下小勢るふぬ一とと男  
 乃やう父いあう一久佐乃他とて  
 八双ふらとてく 船乃とてとて  
 五父子女小極かり極乃とてまかり  
 是乃形像國後小極なり

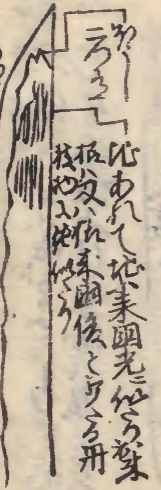
角下同

経号たら米

茶な

了戒

藤角二 伊月は作元延二年十月十日とす



このやう  
 一とての 双を佛そふふとて上三の  
 之とての 此の所が三つに丸佛てを  
 とまり 此のサ一とてとて

山城来ノ類

角二内  
○了哉且能作  
角

乃此之平安城小位 系也、為と名  
了久信 不戒ふたり先の俊房  
角

系作内了久信。  
角

了久信。  
角

棟用ニ又抄様下  
角  
系了久信

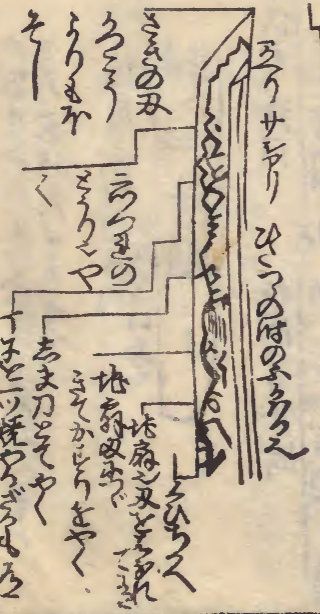
信國、永乃以之を刀の先焼く  
及多し、彼板目なり板目乃ふふり目  
いふもさるる、地を白く焼の是板  
亦うめくもあり大札又も焼のはれ  
札とを焼沸ぬ、一並ぬ、地を焼く  
地をさくも、又さくも、一札又の沸  
は是あひの細い、あわく、沸札のひらき  
不いさ、さるる、西札をさく、砂のて、又、  
そとの、はく、沸と、見、く、り、さ、く、  
と、ぬ、る、を、り、先、化、化、乃、切、け、く、

と、ろく、棟、小、湯、を、と、焼、く、乃、も、三、  
代、あり、元、丸、板、の、祖、又、と、多、く、親、女、地、を、  
ま、り、孫、い、下、多、く、中、位、必、あ、り、大、札、又、い、  
棒、方、り、孫、の、度、又、と、焼、く、れ、地、を、さ、く、  
一、先、二、代、い、さ、り、地、乃、上、と、さ、く、  
又、正、丸、い、り、二、代、目、の、圍、は、三、代、目、の、  
圍、は、必、忠、心、の、祖、丸、一、横、河、先、片、  
山、形、方、り、心、系、貞、系、似、と、信、化、之、乃、  
一、教、系、必、小、さ、り、く、丸、い、り、

信圃



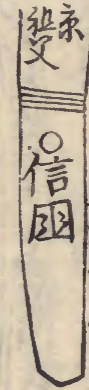
信圃



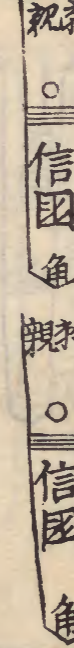
山城来ノ類  
上ノ北

六考うみふりりふなまらふ柄んせハ  
写乃男代りりて見りて

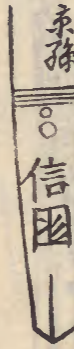
柄角ニ小肉あり注同  
直陰の此の之



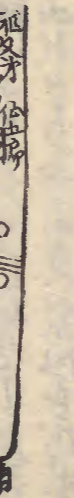
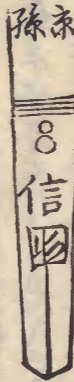
柄肉あり注同  
柄肉あり分同  
信国 魚 角



柄角ニ小肉あり注同  
柄角ニ小肉あり注同



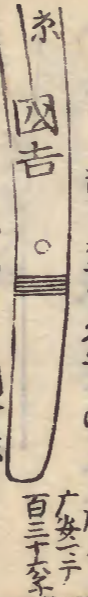
柄角ニ小肉あり注同



一 函吉 私考曰  
系末のえ紀しを扱のる函行以  
下して函吉亦見多しえ把八層仁比



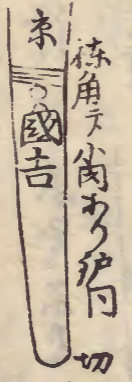
一 函吉 私考  
系末のえ紀しを扱のる函行以  
吉ヨリ六世ニ系安んゆく歴仁り  
广安ニテ  
百三十一系



柄角にして小肉あり 函行ニ修リ  
伊直送

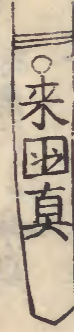
柄角ニ小肉あり手致佳を為對函吉打

一 函吉 弘聖上ノ大ニ日。私考曰曆仁再四十二年



一 来函真 来函後ら版替りの才

来函次あひこをかり系忌りり。後隄湖  
柄角にて伊直送 天皇之應比



一 函来 函行ニ  
柄角伊直送来函後分来六郎号

一 函来 山城来ノ類  
上ノ北七

素困嚇 糸忌小不見

京素困嚇。

梅角にハハ

一 同未

糸忌小不見但困嚇

親梅角ニ肉あつて下

〇〇〇未

角

一 未行

糸忌小不見

未行

〇

切

永銀二年二月二日

一 欠永 <sup>兼缺</sup> 欠字負永の糸忌不見

糸

欠永。

一 大泰 <sup>兼安</sup> 大卒氣女より糸忌不見

太秦。大卒氣女

一 素困久 <sup>素困久</sup> 乃久信が身と云糸忌

了戒の子了久信が親之糸忌不  
あ考のハハ心相乃以之了久信が戒之

梅角ニ小肉あつた久信

糸

〇素困父

一 時信 <sup>トキハツ</sup>

糸忌小不見

三時信被之

糸

梅角あり

一 長吉 <sup>ナガキ</sup> 平安城物之糸忌長吉

有永乃親子といま長吉長吉の  
親子ありす故。別ニハハ出ス同ハハ

考ハハ

吉長が秘之

京都住人菅京長告

梅角にハハ下層ハ三幸十川

一 吉長 <sup>ヨシナガ</sup>

梅角にハハ下長考ハハ

吉長作

元徳年中の事

俗書山城来少類 上 廿八





△大和物は大神流の目貫穴乃と下帯  
 而帶裏小打師習の定らばは他は  
 有り同他の中或は巻流送とて師並  
 毒切並毒の中先持取像有  
 小他と小しらくふ同の束口は流花  
 小一様有り多知し、一々之を物に國の  
 字一様有り所もは横下横師之何  
 色も小切先を半段の六切先中切  
 先もまゝ口傳小云保留必部を中  
 切先もまゝ一〇指例の天國と  
 同はれを能くして書乃小垂る  
 法紀有りは書ハ系と心く倒と  
 ころ故を系流を下めりて系田に平  
 安流とあり天風とては流一〇大和  
 流流乃系流小流とこれと終

一 天國 天國は物文武天皇の雨之天宮  
 乃は大和必之を後人元祿六年乃乃  
 乃乃流板固いれを細やれ地をまゝく  
 三〇ちをこれをも入の心とて流板のあり  
 ひ流しなるま流乃とく有り流女も流  
 了は流地をまゝ女流多一切先流は  
 せやれ流のあり小流多は流入とく  
 流常かりのされ流とてを流女一太  
 刀をく流ひり一乃乃流にをりく  
 流乃とく一〇日本流流を元祖一代流流

一 天産 流乃上西國 文武天皇元祿六年乃乃  
 乃乃乃乃流ひりく及き一乃流一  
 自練をれる流ひりく及き一乃流板  
 目よりひを流れ流ひりく及き一乃流  
 一〇かろく流板一たをい三す計と六  
 ちりく一〇流常小やとありく一〇流  
 及乃流流とく流切を乃乃流板あり  
 とや一乃流とく流板はれ肉流流板  
 ひりく一〇かろく流板一たをい三す計と六  
 さあり及流ひりく及き一乃流板あり  
 あと流流乃今を流ひりく及き一乃流  
 ゆり流流乃今を流ひりく及き一乃流  
 一〇かろく流板一たをい三す計と六  
 乃流中流ひりく及き一乃流板あり  
 乃乃流流乃今を流ひりく及き一乃流  
 くれ流流乃今を流ひりく及き一乃流  
 肉流流乃今を流ひりく及き一乃流  
 くれ流流乃今を流ひりく及き一乃流

乃也さうのりく小正さつらめも  
きく心せん行山乃心あも夫のり  
くゆも又かやう木さだ乃角と丸  
うやうあつも有り

角ノ小肉あり伊達  
○天庄

一友光 主下上作女式乃ほす日慎  
刀乃筋これわ経産くま一振松目  
いれもほやくのりくあし小丸又と焼  
綿り成やそく焼切一抽打乃筋り  
廣又なり又かそ並及も焼之焼又  
中さき一振古たあさくた尺天  
團天庄のりるり招き入り

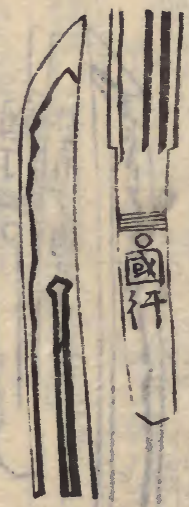
信彩をまへと号す  
安列 主中上 一条院市守永延法  
本刀あつ子わのり振乃盾さう小  
さく並に強振一振松目わん色こ  
まやうの地さきく上うたわん色し  
又さきまあつ上とせやうの白  
今へりえくとまはたれ上はあ結  
乃と並るくくさきま上とゆ

まはたとせりは又さきくさき常  
行圓 兼下上 一条院市守永延法  
乃はたと刀乃筋かそくくれわ経産  
く振さき振松目地さ白め録り  
振ふんくさ細並及し小丸又もさ又  
のされ札又あも焼拂さ又又思一丸  
振体りさほのりまあゆり二ま振  
さう小打あり

△歎麻抽乃大辨真乃さうく長刀  
抽刃と切らるる子半院ふり物の  
上さありそ併へ大腕を後お割と  
厚りさ肩の先突りとく振をけ下とあ  
むりこれ中心乃れ他振あく  
さ厚し一振さきあり又か換  
研りの振相許のりあんのえん振  
へされさ小打他振振くちあ  
り又一振他り又一特首と極  
く極あふり例く削極切抽極く

△大和國當麻系系総法





二刀のこすわぶあぶの度さ界さー  
是大和のあまてし

あつりまてつみし焼つあぬさー  
白かくりまこわん

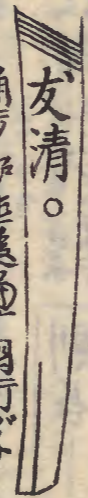
大和  
高天國行  
友法交繩  
友行とれ  
とより



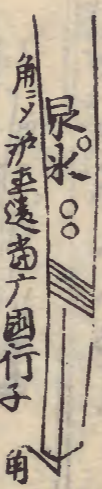
○國行作

○國行

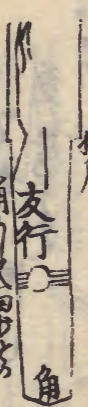
友法  
高天國行が子系家ニ



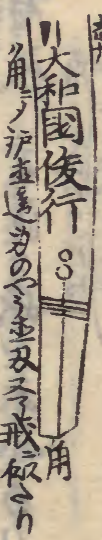
泉氷  
高天國行が子系家ニ未見



友行  
友法が子系家ニ



後行  
高天國行が子系家ニ



大和包永に依り包永  
のり佛ニまのこ  
佛さく千考後  
のこく次又もわ  
り

一有後 友後子孫之系也其あり

角ニ小内わりの伊日

一有後 有後

角ニ内わりの伊日

一有後 有後

角ニ内わりの伊日

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

一有後 有後

大和尻無系秘候

則弘 弘村

弘村

弘村

則長 女子 則貞

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

則長

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

大和則長作

角ノ内ワリ并同  
大和則長作

△大和子権之系名秘法

包永 カキ古 中上他〇伏見院御宇大和系之権位人臣等御  
平三ノカハ齒系御宇表同表穴の  
上三流打御抄ハ表同表穴の上三  
打御抄御抄表同表穴の上三  
のひりごありんごうごうご

包永 中 判 御抄

包次 文殊御宇元正  
平三ノ流

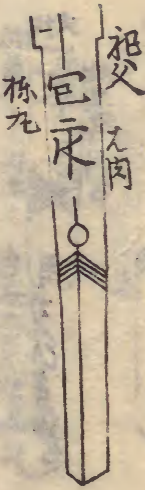
包真 表永法  
表同御抄

包持 表永法  
表同御抄

女子 包定

包俊 中他 後醍醐天皇元正の系  
表同表穴の系  
上三流打御抄ハ表同表穴の上三  
のひりごありんごうごうご

包永 中他 後醍醐天皇元正の系  
表同表穴の系  
上三流打御抄ハ表同表穴の上三  
のひりごありんごうごうご  
包永 中 判 御抄  
包次 文殊御宇元正  
平三ノ流  
包真 表永法  
表同御抄  
包持 表永法  
表同御抄  
女子 包定  
包俊 中他 後醍醐天皇元正の系  
表同表穴の系  
上三流打御抄ハ表同表穴の上三  
のひりごありんごうごうご  
包永 中上他〇伏見院御宇大和系之権位人臣等御  
平三ノカハ齒系御宇表同表穴の  
上三流打御抄ハ表同表穴の上三  
打御抄御抄表同表穴の上三  
のひりごありんごうごうご



巨永 棟九  
大和系

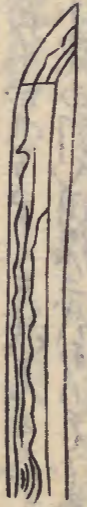
柄角ニ小肉あり 包永方、刀、平、平  
 文包永。角刀ハハ平平  
 延享年月日

包永

大とんハあつたのて、四ふあふ  
 平のを、平ふあふ、平

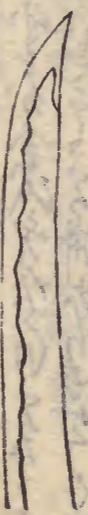


包永



包永

衣目

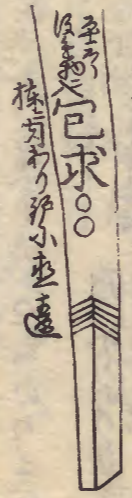


包永

大和國佳人亡永

柄丸ノ角とれおあ角 号助三郎  
 角子面

包永



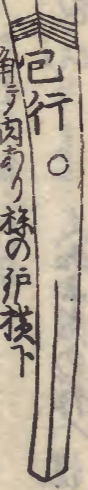
包利

包永中、衣永あ、衣

貞治三〇包利

包行

包永中、衣永あ、衣



包次

包永中、衣永あ、衣

包次

包吉

角ニ小肉あり 刀、平、平  
 角の、平、平、平、平

包貞 包次が子と系息あり



包貞 包利が子と系息あり

多摺の位号係四郎文珠  
四郎の子孫

包貞

大永千多二月日

包氏 下と上 大和守助の侍人 濃列下  
て志保に包乃字を改て包氏と打  
是志津三郎と多く多志津部

●花を流し下りて遠き所の所大和國住人志津  
と号すお取道民小同ト是小切と日  
他と云他又ふちひりて包と佛師一又  
と焼くろ多一地と老りとく源の  
さしひひりりり切らると云志保  
横护式に換下ひかたもあり一代源

大和守の道  
包氏作  
多摺の位号係四郎文珠

角ノ小内あり  
包氏  
大永千多五月日

包光 系息小不

包光

包光 系息小不

包光

大和保昌系息秘法

四光

貞吉 中化五光子  
刀等長圓

貞吉 貞吉の下落とひく申小孫と折振  
指も同あり刀柄柄有る小孫ひく折振  
んえ一文字かりありとさも同あり

貞宗 下と上 光義後元弘と改

貞法 下と上 貞光 貞光の子

女子 貞奥 貞光の子

貞吉 下と上 他 後醍醐天皇元徳の法  
大和守保昌系息 大乃乃長一孫ひ  
ろく唐糸小孫松岡たのむと地と云

大和保昌

四光



言ひた方も刀も是乃又と焼けむら  
 刀のやうに之り多き是乃焼けぬのわたり  
 棟乃旁へ連て是乃焼けぬのわたり  
 日棟小湯をうぐも焼くは他は是乃  
 意目あはれ焼くは又焼乃ありこれ  
 ざりもあり

○大和国住藤原貞吉



藤原貞吉

角ノ小肉あり伊枝

金吾藤原貞吉

宗元金吾藤原貞

大和国高市郡住人丸太村藤原貞吉入  
角ノ肉あり 柱の伊枝

一貞吉 貞吉小太刀かりりて多し忠松  
 恒平先ぶの切忠乃棟の角ありて同き

忠乃持やまりの横也  
 ○忠押形未足

一吉光 吉光の稀く刀の能く是り  
 是の縁ありて他より連及ゆえ形

忠の持たふ丸く先細小刀山横や  
 是り二子縁ふつめく打おもはる

小徳もあり○夜甲の要木因に教り  
 吉光とあり○遠國日輪日吉光栗

田目三人因懐三人山城三人一人の上あり  
 とき右の吉光忠押形未足

△大和子平院之系島秘候  
 ちんば

行信 ○龜山ははら  
 後心下 仍後子

女子 祖決下

重業 重弘 井上他  
 〇龜山渡り

〇姓流之は 康重 重弘  
 重弘 同時

〇姓流之は 康重 重弘  
 重弘 同時

國吉 金吾 國吉

〇洛書大和子平院

〇日入

金書

力玉

金玉丸

一玉

力

如子

登久

一千平院 中と 正と乃び此を力のまゝに  
 及多く指ひり 九棟小仏の地を  
 くつり 座敷小仏と焼入を備お初  
 乃とく 懸と焼入 一層礼又もる又を  
 言め小仏 坐敷法多の切を中地  
 伏入 雛のた刃をめぐり 院松圓の  
 ありは他物とくまると云々と持に  
 入るは是乃 院がるあり 中心のあり  
 乃事 右方の院の戸重連す 平の戸  
 横なり 但胖りと二三寸横 戸中 忠  
 先へ 大連連なるもろ子 院の路と打  
 なるは 祖父親孫乃 足かやう 院乃事  
 小なるは 忠乃 院棟角あり 肉を  
 ねとれめん とすく 丸ゆ 小より 丸棟  
 乃とく 見く 丸ハ 割り 丸とあり  
 とね 丸め 丸とあり 小なるは 丸とあり

徳文 〇千平院

行信中 孫肉アリ

〇行信

角 〇小肉あり 様下 角 祖父千平院 是子孫分を院とゆき

〇行信

角 〇小肉 戸様下

行信

行信クヨ 千平院

孫角 〇小肉あり 戸重連

行信 〇子 〇小肉あり 上手と長と 〇父方 〇院云 本方 〇面 〇目 〇費 〇院の上 〇者 〇角 〇小肉 〇

〇千平院

孫角 〇小肉あり 戸重連

行信 〇 千平院

孫丸 〇小肉あり 角 〇小肉あり 戸重連

〇千平院

是孫子の院之行信を様と上の各等面 同費定の下は寺に何れも千平院と申すて 名ハ寺 後行信と申すは四ノ川に寺を建と云

〇名書 大和千平院

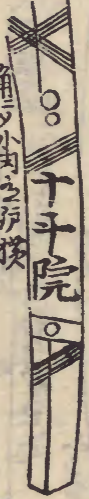
二四七

金五

行信才子世る三伯父才院と云

千手院 角

千手院



角ノ小肉之戸撲

千手院

在九ノ戸撲並運

角ノ小肉ヲク戸同  
千手院

新弘 仍修室新と先祖と

金五圓蓋と力五 康室康次

室室を茶屋本取取由一芝室茶

屋室ひ乃乳と焼切切と一七種金室

小室室とあり ○室弘刀ハ行並運

傍行初とやまあり乃地之御指も

乃行刀同又云室弘弘と色五乃行ハ行並

並もあり角も五九と色五乃行ハ行並



千手院

角ノ小肉ヲク戸並運

重於

角ノ小肉ヲク

角

重弘多類

康弘。康室

定まろ出た子一系  
角三ナリ

是八行信乃類ハカと重弘千の院と云  
人兼重と云千の院ハ重弘ク一類ハ大和  
行信と重弘と云人千の院ハ儂多赤塚本  
乃と之乃重弘子孫と云千の院ハ行  
信と岩殺乃と云弘と云人千の院ハ行  
打い乃千の院ハ力五と身ハ重弘子孫

千手院是重

在活以

是重 持平持妙角ノ小肉之戸撲下

千手院是重

定まろ弘子

角ノ小肉之戸撲下

角ノ小肉ヲク戸同  
千手院

日孫

定まろ弘子

之重



角ノ小肉ヲク戸同

大和千手院

力王 系忌ニアリ。口糸院出づ天福院

力王。角

角ヲ小肉あり。伊豆送

手平院。小肉あり。伊豆送。角

角ヲ小肉あり。伊豆送

金王丸。國吉作。角

金王丸。國吉作。角

金王丸。國吉系忌ニアリ

角ヲ小肉あり。伊豆送

角ヲ小肉あり。伊豆送

金王丸。國吉作。角

金王丸。國吉作。角

國吉作。角

角ヲ小肉あり。伊豆送

國吉。角

義弘。角

義弘。角

大和国添上郡千手院義弘

依吉 系忌

九くめん。大和地より。系忌。まねる

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

依吉。肉

圓永 大和系墨刀 一代 曆比

圓永 角ノ小肉あり 切 一代 治

未行 大和系墨刀 一代 治

未行 角ノ小肉あり 治

延吉 大和系墨刀 〇 花聖院文保比

延吉 角ノ小肉あり 治

利光 系墨刀

利光

角ノ小肉あり 治

長光 〇 長光 角ノ小肉あり 治

長光 角ノ小肉あり 治

友則 〇 友則

和列時分寺 下之上 義保比 〇 枝接

和列時分寺 下之上 枝接

吉行 一代 治

吉行 〇 吉行 角

時未 一代 治

大和國住人時未作

重則 一代 治

重則 〇 重則

長國

長國 〇 長國

長吉

大和吉行 了龍 山本長吉作 〇 長吉

△字多物之系系墨秘法

系墨ニ就中ト号シテ就中ノ内ニ 入路形ハ大和ノ内あり仍テ系墨ト云フニ就中ノ内ニ字多物ト云フニ就中ノ内ニ

〇 治 大和字多物 上 五十一

國光

國房

國貞

國久

國次

國久

國真

國房

國弘

國長

國友

友次

國吉

友則

女子

友久

國宗

友冬

國森

友重

國光

平國

字久 國光

角ニテ

字久 國光

角ニテ

字久 國房

孫角ニテ小肉ニテ

國友

小肉ニテ

字久 國友

角ニテ小肉ニテ

國長

角小肉

字久 國長

國光ニテ國の字ニテ

國友

一角

字久 國友

極肉ニテ

國宗

後中ニテ

字久 國宗

角ニテ

字久 國宗

角ニテ

名目 大和字多

上 五十二冬

回久

一宗友 系忌 六九

○字多國久

角ニ小肉有り

宗友

回安

字多系忌 小九

○國安

角

未回

時代回房の字色 極危

淺の

未回

古今流家合敷大全上終



庫 文 閣 内			
二 函	一	二 五 一 七 九	和 書
三 架	三 冊	號 類	

和 書 門			
一 三 冊	二 架	九 七 函	二 五 一 七 九 號
			類